



器



火

11月1日、一本杉通りに 火を灯す。

「漆陶舗 あらき」、火が奏でる「鶏とまつば」、海に感謝
「うみまち商店」。共に手を取り新たな歩みへ。

令和6年元日の能登半島地震をきっかけに、かつて賑わった一本杉通りも、いくつかの店が閉店。
「このままでは、通りが静かに消えてしまう」。

その想いから、漆陶舗あらき八代目は一軒先隣の洋品店跡を買い取り、地域再生の拠点とする決断をしました。この意志に賛同し、集ったのが2人の若い料理人。漆陶舗あらき2階には「鶏とまつば」、旧洋品店跡には「うみまち商店」がオープンします。

私たちはもう一度、人の気配と日常の火を灯すために立ち上がりました。

七尾から能登、能登から石川、石川から世界へ—手に取る人に伝わる工芸と食文化を届けていきます。



漆陶舗 あらき
新城 純一



鶏とまつば
松林 功



うみまち商店
日野 貴明